

# 吾妻中学校だより

第8号 吾妻中の庭：日焼けした笑顔

9月 9日 文責 富樫

○ 自ら学ぶ生徒

○ 心豊かな生徒

○ 体たくましい生徒

## 駅伝大会

中学校時代は、何事にもチャレンジして経験を積むことが大切です。吾妻中は少人数のため何をやるのも人任せではいけません。『走ること』が苦手な生徒もいると思います。そんな中で6月から駅伝の練習がはじまりました。早起きして家を出てくる。もちろん保護者の方は朝の朝食の準備もはやくなり大変になります。でも頑張る我が子を後押しする。そのことが子どもたちに伝わり言葉では言い表せないすばらしい経験ができたと思います。保護者の方々の陰ながらのサポート、ユニフォームを新調してくださった体育後援会の皆様に感謝もうしあげます。



## 多くのことを経験できる幸せ

吾妻中生は主役として多くのことを経験することができます。

今週は、3年生修学旅行、2年生職場体験、1年生ジオパーク学習と体験学習が目白押しです。どの学年も自分が考え、動かないと活動になりません。生徒全員が主役です。これが吾妻中のいいところです。当日はしっかり考え活動しましょう。その他大勢ではられません。

※うまくいったり失敗したり

多くの場面で体験した失敗や悩みは、ひと回りもふた回りも人をタフに、たくましくします。敗れて悔しいという経験は気の毒にみえます。しかし、その気持ちを力に替えることができれば大きな力を身に付けるきっかけになります。夏甲子園で優勝した大阪代表の履正社高校、春の大会1回戦で石川県の星稜高校に3安打0点と完全に奥川投手に押さえ込まれ悔し涙をながす結果となりました。その後履正社高校はこの悔しい経験を思い出しながら毎日練習を積み上げてきたとのことでした。

## ちょっといい話（一本の襷編）

私は後半残り1kmの上り坂で選手を応援しました。各チームの選手は皆次の選手に1秒でも早くたすきを繋ごうと一生懸命走っていました。応援も自分たちのチームだけでなく全ての選手に『頑張れ、頑張れ』と声をかけていました。中学生が走る姿は応援するものにとってはとても感動的で、心が動かされます。もちろん吾妻中の生徒が通過するときは熱いものがこみあげてきました。大きな力を子どもたちからもらうことができました。



## 台風一過（たいふう いっか）

意味は『台風が通りすぎた後に、空が晴れ渡ること』です。この意味から転じて『騒動が収まって晴れ晴れすること』の意味もあります。（入試で出題されるかも）

理科的にいうと台風の後には高気圧が通過するので空が晴れ渡りとても暑くなる。同時に雨（水滴）の中心には必ずゴミがあり（ゴミに水滴がつく・・・窓ガラスに水滴がつくように）それが雨と共に空気中のゴミがなくなり太陽光が当たりやすくなります。私は小さい頃、雪が降ったとき雪を食べたことがあります、同時にゴミも食べていたんですね・・・

※ 修学旅行の動きについて吾妻中学校ホームページにライブでアップする予定です。

